

## 音楽の指導に求められる豊かな感性を育む。

「音楽と人間、音楽と社会」との関係性を深く研究していくために、教育科目、教養科目を幅広く学びます。多様な音楽実践を通して音楽の奥深さを体験し、仲間たちとの音楽づくりを通して、音楽を人に伝える方法を思考できる能力を養います。自らの音楽体験と学校の音楽とのつながりを考え、より専門的な能力を培います。

詳細はコチラ



### 〔 4年間の学び 〕

1、2年次には、音楽理論、ソルフェージュ、作曲法、器楽、声楽、合唱と音楽科教育法の基礎を、そして3、4年次は、それぞれの専門を深めるとともに、和楽器や実践的な音楽科教育法などを学びます。さらに4年次では器楽、声楽、作曲、音楽科教育学のいずれかの分野を選び、卒業研究に向けてより深く研鑽を積みみます。学修の成果を発表する場としては、毎年5月の大学祭自主企画「チェリーズ」と、12月の「学内演奏会」、3月の「卒業演奏会」があります。これ以外にも学生が自主的に企画・運営する音楽会や、ゼミ単位の発表会も行われています。

### 取得できる免許

- 【卒業要件に含める免許状】  
小学校教諭一種免許状  
中学校教諭二種免許状（音楽）
- 【取得を優先して薦める免許状】  
中学校教諭一種免許状（音楽）
- 【所定の科目履修で取得可能とする免許状】  
高等学校教諭一種免許状（音楽）  
◎幼稚園教諭二種免許状  
◎特別支援学校教諭二種免許状

◎の免許状は、いずれか1つを選択し取得を目指すことが可能です。



音楽科学内演奏会



小学校訪問演奏会

## 先輩 Voice

学校教員養成課程 義務教育専攻 音楽専修 4年  
愛知県立豊橋東高等学校出身



音楽の専門性と  
自分らしい表現を引き出す学びで  
誰もが安心して生活できる社会に貢献したい

専門的な知識から、ピアノ、合唱、指揮といった教育現場でも役立つ技術まで幅広く学ぶことができます。2年生後期の作曲法では、グループでラジオドラマのBGMを作成し、グループごとに雰囲気や効果の違いが生まれる面白さを体験しました。音楽科の先生方は学生に寄り添い、どのように表現したいのかを対話の中から引き出し、それを実現するための方法を丁寧に教えてくださいました。これからも音楽と教育の知見を深め、学んだ価値観を将来子どもたちや関わる人々に伝え、安心して生活できる社会づくりに音楽教育の視点から貢献したいと考えています。

### ■ 私の時間割 (2年生前期)

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
1時限	初等社会科教育内容 A	作曲概論	初等音楽科教育法 B	初等算数科教育内容 A	
2時限	初等図画工作科教育内容 A	スポーツ II	初等体育科教育法 A	ピアノ実習 I	
3時限		英語コミュニケーション II	この時間を使って「学校体験活動」の事前指導やガイダンスを行うことがあります。	合唱 I	ドイツ語 II
4時限	教育システム論				管弦打 I
5時限					管弦打 I